

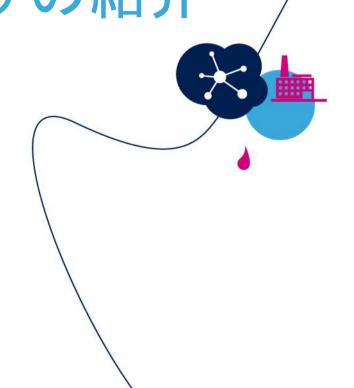
STM32MP1マイクロプロセッサの紹介

OSAKA NDS Embedded Linux Cross Forum 2020年2月5日(水)

植田 真司

STマイクロエレクトロニクス株式会社 マイクロコントローラ & デジタル製品グループ





STマイクロエレクトロニクスについて 2





研究開発への確固たる取組み



- 世界各地に主要技術研究開発センター
- 取得特許約18,500件 特許ファミリ 約9,600件 新規出願特許 約590件(2019年)
- 研究開発スタッフ(R&Dおよび製品設計) 約7,800名



あらゆるシーンで活躍するST製品 4



より安全で、 環境に優しく、 コネクテッドな運転

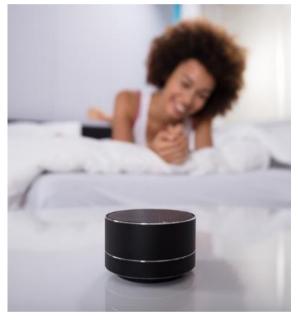
よりスマートで、安全性 が高く、効率的な工場 や作業現場に向けた 革新的な産業機器





生活の向上、セキュリ ティの強化、および利 用可能なリソースをより 活用できるスマートな 住宅&都市



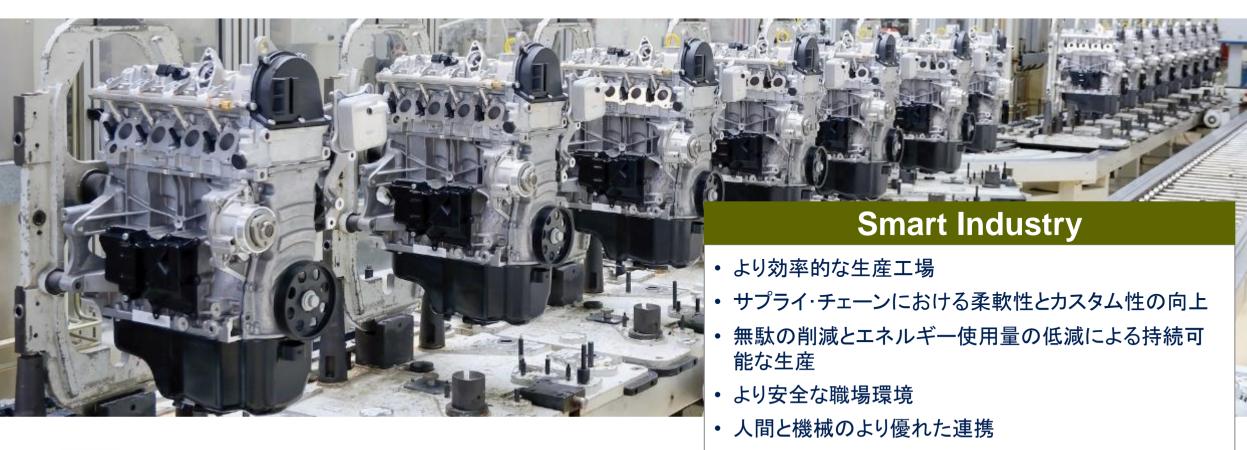




Smart Industry 5

・ 機械とツールの最適な使用

工場・職場をより安全・効率的・スマートに





Smart Home & City 6

住宅と都市をよりスマートに



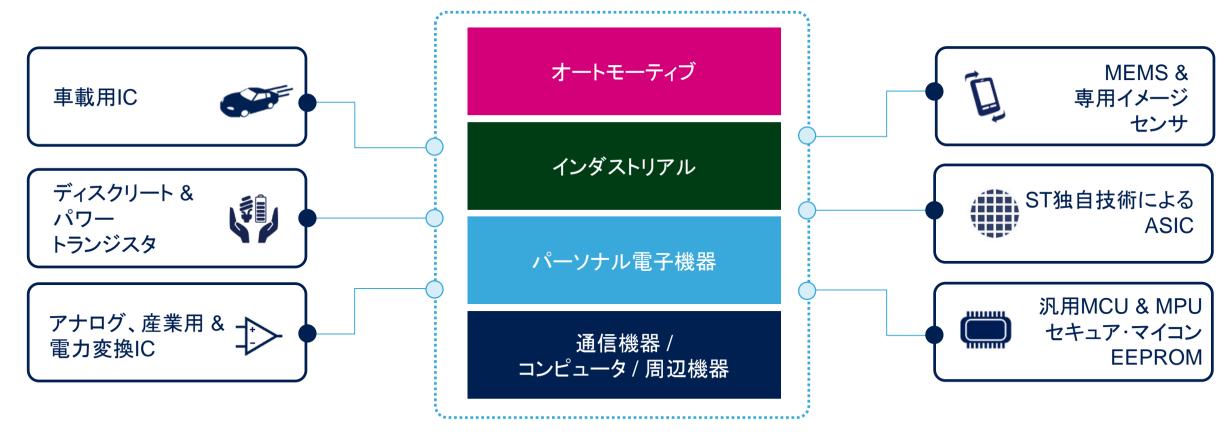
- ・ 交通・地方自治体のサービスを向上させる スマートな都市インフラ
- 、スマート・グリッド
- 地域に合わせたインテリジェントな公共照明
- ・スマート・ビルディング





重点製品ファミリ

研究開発と製造の相乗効果を生かし、 対象とする市場で高い相互補完性を発揮するSTの製品ポートフォリオ





Arm® Cortex®ベースファミリSTM32

幅広い選択肢 / シリーズを超えた互換性 / 豊富なエコシステム

マイクロプロセッサ

デュアルCortex-A7 + Cortex-M4



ハイパフォーマンス























超低消費電力











ワイヤレス



CPU Cortex-M0/M0+ Cortex-M3

Cortex-M4

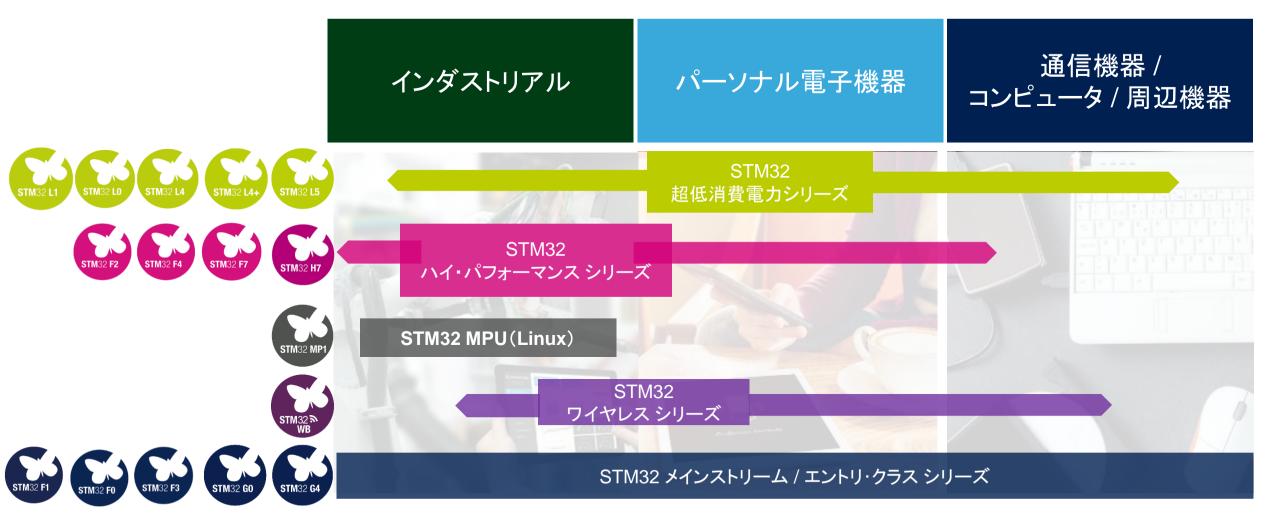
Cortex-M33

Cortex-M7

Cortex-A7



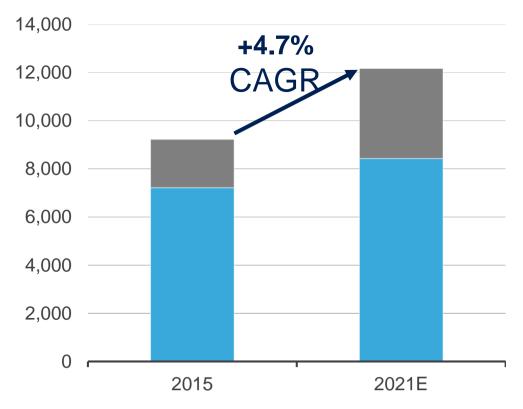
STM32の注力エンド・マーケット





組込みプロセッシング 市場トレンド 10

組込みプロセッシング* TAM



■組込みMPU(インダストリアル) ■ 汎用マイコン

> * 車載用マイコンを除く 出典: WSTSおよびST

インダストリアルの成長ドライバ

- 多様なアプリケーションにおけるプロセッシング
- 5Gネットワーク導入に伴うIoTの浸透
- エッジAIの普及
- セキュアIoT端末を起点とする新たな応用分野
- 産業用ロボット/工場自動化
- 健康・医療&イメージング
- ドローン
- POS(Point of Sales)システム
- 生活家電
- 健康・フィットネス
- 3Dプリンタ
- ポータブルPOS(Point of Sales)
- 産業機器、電動工具
- スマート・メータ
- パーソナル・ヘルスケア
- スマート農業









インダストリアル・アプリケーションのニーズ

トレンドをリードするSTM32



演算性能の強化

- Cortex MCU & MPUの高性能化
- ユーザ・インタフェースの強化
- 産業機器ニーズに最適化された機能



より高度なAL

- ・エッジ端末へのAI実装に対応
- リアルタイム応答性、プライバシー保護
- 予知保全などへの応用



コネクティビティ の多様化

- 産業用イーサネット
- NFC、Bluetooth® LE、WiFi
- LPWAN, CAT-M/NB-IOT 4G to 5G



セキュリティの強化

- 完全性(インテグリティ)の担保
- セキュアな通信
- ・ 機器認証によるプライバシー保護



デュアルコア・プロセッシングの活用 12

産業機器



- 通信用プロトコル処理 / ゲートウェイ
- リアルタイム処理(モータ制御など)とAIを活用した センサ・データ処理の並列化

ホーム・オートメーション&セキュリティ



- GUIとAIの並列処理(例: 音声コマンドやノイズ パターン検出によるアラーム)
- 通信/ゲートウェイとリアルタイム応答 インタフェース



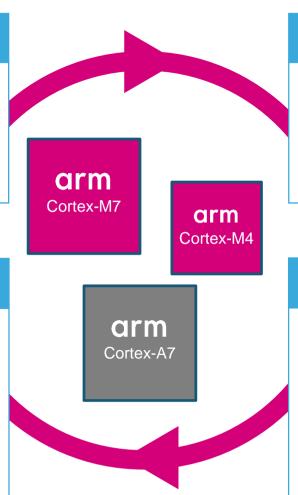
マルチコア・アーキテクチャのメリット 13

- ・マルチコアによる並列演算処理(リアルタイ ム処理と複雑な演算処理の並列実行)
- **演算処理時間の短縮化**による平均消費電力 の削減

システム効率の向上

各コア間での処理負荷の最適な分散

- Cortex-M7 / A7(高性能演算処理): GUI、DSP、セキュリティ
- Cortex-M4(リアルタイム処理): 通信処理、RTOS、モータ制御、 プロセス・コントロール



開発期間の短縮

- 並行したシステム開発 (コア毎に独立した開発チーム)
- 使用部品点数の削減で 基板設計と検証が容易かつ短期間に

▶ システム・コストの低減

STM32H7 / MP1マルチコア製品へより多くの タスク処理を割り当て、BOMコストを削減

- ・外付け部品の削減 (マルチコアへの機能実装)
- 複数のMCU / MPUの1チップ化
- **通信機能**の拡張とユーザ・インタフェースの 高機能化



エッジAIを可能にするSTM32

イノベーションをシンプルに

- ・ビジネスの拡大に貢献: 既存アプリケーションへの 追加実装による付加価値の提供
- 新たな機会創出: AIで生まれる新アプリケーション
- ・コストおよび消費電力の最適化: 高性能MPUが必要 だったAIをシンプルなマイコン上で実現
- AI対応による高性能化: 演算処理機能の追加で 応用範囲を拡大









STM32のロードマップは、自律機能や機械学習機能を備え、高い電力効率を持ち、アプリケーションにより最適化された次世代端末の実現に貢献

STM32が可能にするAIアプリケーション 15

Low







- センサ・データの分析
- 活動量の認識(モーション・センサ)
- ストレス / 注意力の分析

Medium







- 音声認識
- スピーチ認識
- シンプルな(低解像度)物体検出

High



専用IP搭載のMCU/MPUから専用SoC





- 物体検出 / 分類 / トラッキング
- 自然言語の認識/スピーチ合成

10 MOPS **GOPS** 0.5-1 TOPS **1-2 TOPS**

MCU



産業機器 予知保全用 モジュール



スマート・シューズ 活動量トラッキング



物体・ジェスチャ 認識用デバイス







STM32xx





STM32MP1 Discoveryボード

AIアクセラレータ搭載の次世代STM32

STM32セキュリティ・エコシステム = STM32Trust

STM32 セキュア ハードウェアIP

開発ツール

セキュリティ ソフトウェア







- サイバー・セキュリティ
- ライフタイム・セキュリティ



STM32MP1: 汎用マイクロプロセッサ

マイクロプロセッサをSTM32ファミリに追加

マイクロプロセッサ



Dual Cortex-A7 @650MHz (2x 1235DMIPS)
Cortex-M4 @200MHz (250DMIPS)

マイクロコントローラ



Cortex-M7 @400MHz (856DMIPS) Cortex-M4 @200MHz (250DMIPS)

Cortex-M7 @216MHz (462DMIPS)



Cortex-M4 @180MHz (225DMIPS)



Cortex-M3 @120MHz (150DMIPS)

STM32 ハイパフォーマンスシリーズ



STM32MP1: 応用分野 •

- 産業機器
 - HMI(操作部等)
 - PLC
 - ・バーコードリーダ
- 民生機器
 - IoT ゲートウェイ
 - ウェアラブル機器
 - スマート・スピーカ
 - フィットネス機器

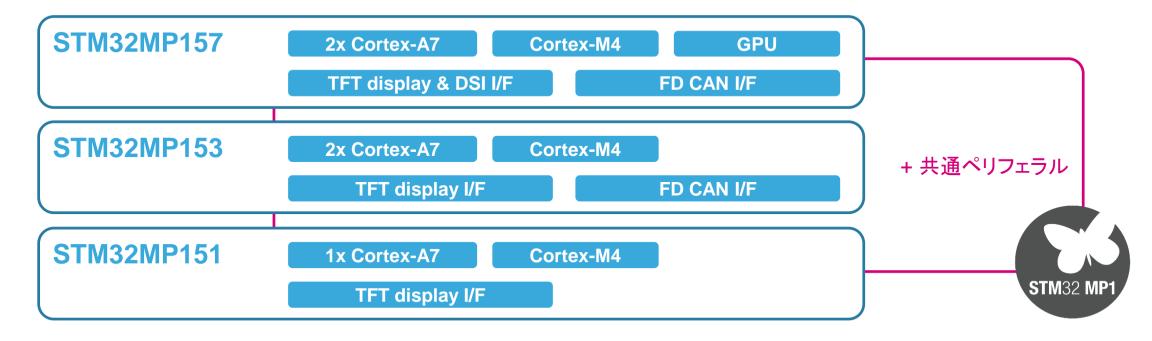
- ・ヘルスケア
 - 民生用ヘルスケア機器
- ・ビルオートメーション
 - ・ 入退室管理・制御システム
 - ・ エレベータ操作部





STM32MP1: 製品ライン 19

- 3種類の主要製品ライン
- オプションでセキュリティ機能を準備(暗号回路およびセキュアブート機能の有無)





STM32MP157 ブロック図

・パッケージ

- LFBGA448 (18 x 18 ピッチ0.8)
- LFBGA354 (15 x 15 ピッチ0.8)
- TFBGA361 (12 x 12 ピッチ0.5)
- TFBGA257 (10 x 10 ピッチ0.5)



Open GL ES2.0 GPU 26Mtri/sec, 133Mpix/sec



アナログ

2x 16/14bit ADC 7.2MSPS 22チャンネル

2x 12-bit DAC

温度センサ



STM32MP1: エコシステム

マイクロプロセッサ開発に最適な環境を準備

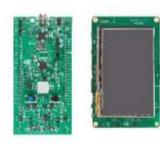
ソフトウェア







ハードウェア











各種評価ボード

ユーザ・サポート



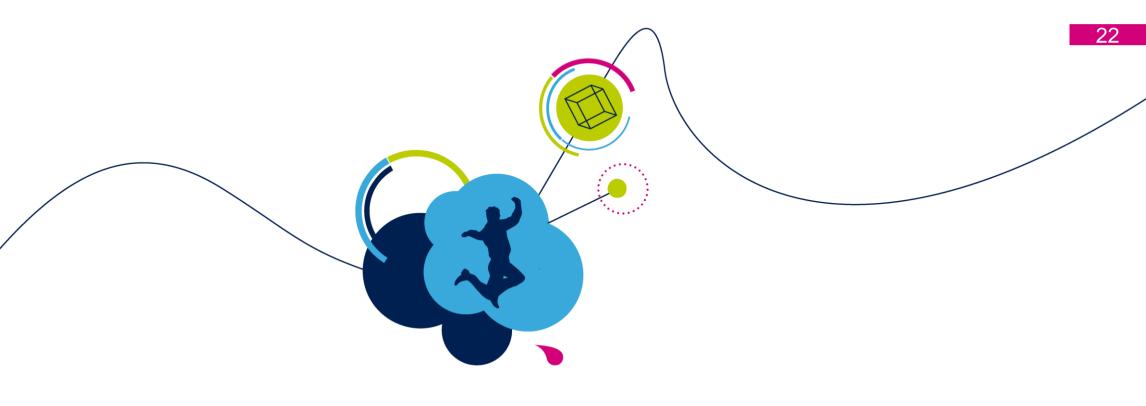
FAEサポート



開発コミュニティ community.st.com







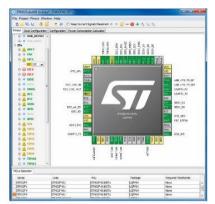
開発環境・サポートツール



STM32MP1開発ツール i

Arm Cortex-A + Cortex-Mアーキテクチャをサポート







All-in-one STM32 programming tool Multi-mode, user-friendly



STM32CubeMX

MPU用 拡張版STM32CubeMX

- 初期化プログラムの生成
- DRAMインタフェース・チューニング
- デバイス・ツリーの牛成

IDE(統合開発環境)

マルチコア・ソリューション

- パートナー企業製IDE
- Eclipseベース無償IDE
- マルチコア・デバッグをサポート

STM32プログラミング・ツール

STM32CubeProgrammer

- Flash / DRAM / 内蔵システム・メモリ への書き込み
- OTP書き込み
- 電子署名および暗号カギの生成



Peripherals UART4 Cortex-A7 NS W UARTS Cortex-M4 UART7 Cortex-M4 SPI1 SPI2 SPI4 SDMMC1 SDMMC2 USBH HS USB OTG I2S1

STM32CubeMX機能

ピン・アサイン & 機能設定

Cortex-A7 & M4の各種機能を簡単設定

- ピンアサイン
- ペリフェラル機能設定
- 割り込み設定
- DMA設定
- GPIO設定
- ミドルウェア設定
- クロック設定

```
main.c
  23
        #include "stm32f4xx hal.h"
        #include "cmsis os.h"
        tinclude "lwip h"
  28
        #include "usb device.h"
  29
  30
        /* Define structures */
  31
        ADC HandleTypeDef hadc1;
  32
  33
  34
        /* USER CODE BEGIN 0 */
  35
  36
        /* USER CODE END 0 */
        /* Private function prototypes
        static void SystemClock Config(void);
        static void StartThread(void const * argument);
        static void MX GPIO Init(void);
        static void MX ADC1 Init(void);
        static void MX NVIC Init(void);
  43
  44
        int main (void)
  45
  46
        /* USER CODE BEGIN 1 */
  47
  48
        /* USER CODE END 1 */
  49
        /* MCU Configuration-
  50
          /* Reset of all peripherals, Initializes the Flash interfa
  51
          HAL Init();
  52
           /* Configure the system clock */
                                 Dos\Windows
                                                                   INS
In:1 Col:1 Sel:0
                                                 ANSI
```

デバイス・ツリー自動生成

Cortex-A7 & M4の設定をもとに デバイス・ツリーの自動生成

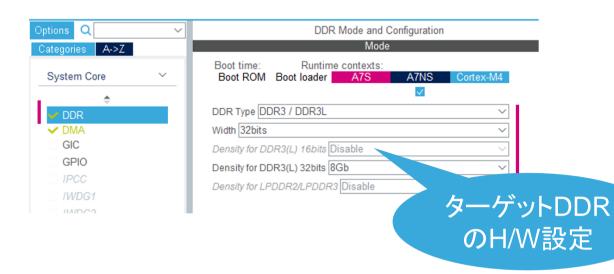
- Cortex-M4はSTM32HALベースのコードを 自動生成
- Cortex-A7はブートシーケンス、Linuxカーネルを設定する際に必要となるLinuxデバイス・ツリーを自動生成



DDR設定

ターゲットDDRのH/W、パラメータ設定







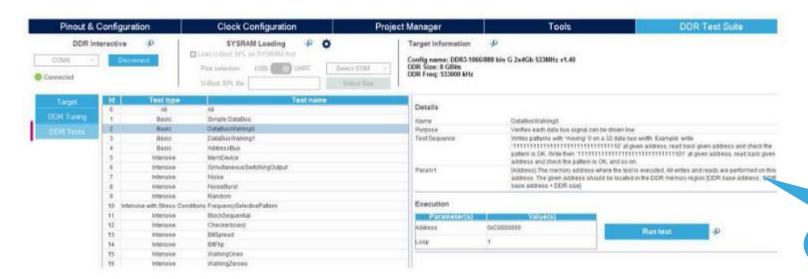
ターゲットDDRの

パラメータ設定



DDRテスト

設定をもとにターゲットDDRのテスト実行



DDRテスト 項目

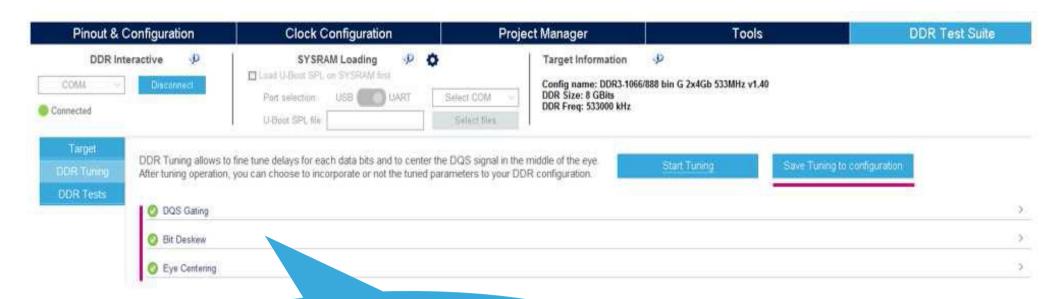
DDR Test Suite connected to target board
Target board configuration name: DDR3-1066/888 bin G 2x4Gb 533MHz v1.40
Target board DDR size: 8 GBits
Target board DDR frequency: 533000 kHz
Target board configuration name: DDR3-1066/888 bin G 2x4Gb 533MHz v1.40
Target board DDR size: 8 GBits
Target board DDR size: 8 GBits
Target board DDR frequency: 528.0 MHz
Current configuration DDR registers loaded to the target board
DDR test #2 (DataBusWalking0) triggered with parameters: [loop] 1 [addr] 0xC00000000
DDR test result: Pass

テスト結果



DDRチューニング

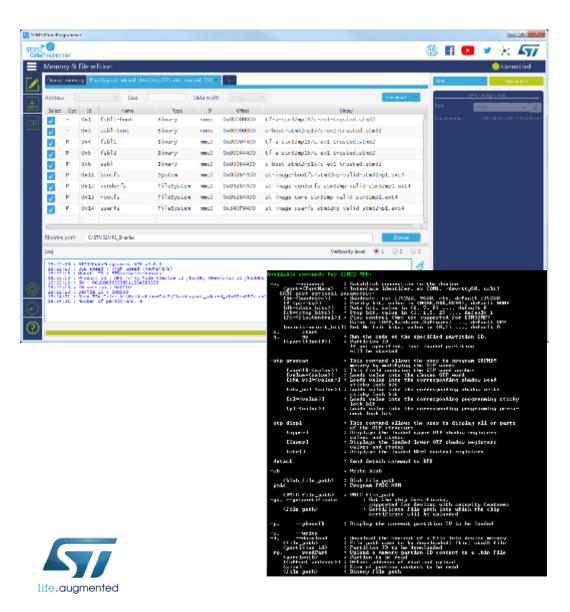
設定、テストをもとにターゲットDDRのチューニング



アイパターン、DQS、 DQのチューニング



STM32CubeProgrammer



外付けメモリ向けプログラミングツール

SPI、UART、USBを経由して、QuadSPI、SDMMC、FMC、I2C、SPI対応外付けメモリ、OTPのプログラミングを実行

PC上でブートチェーンのプログラミングに加えて、 コマンドラインの作成が可能

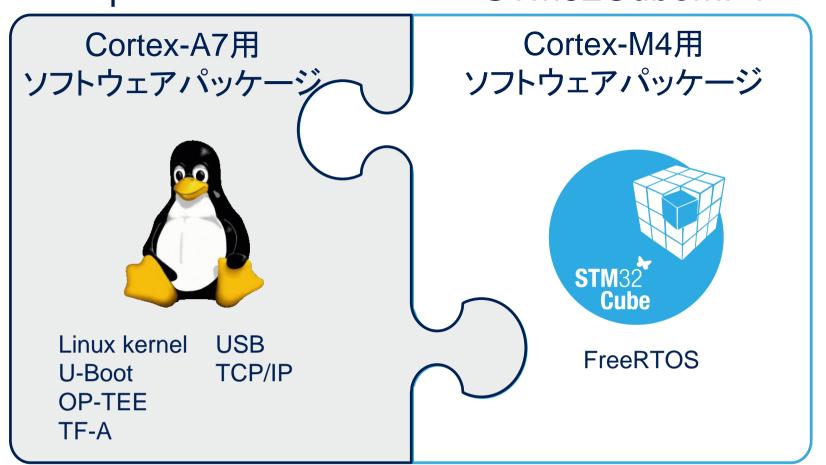
arm

Cortex-M4

ミドルウェア・パッケージ 30

OpenSTLinux

STM32CubeMP1





arm

Cortex-A7

OpenSTLinuxパッケージ

Starter Package

EVALボードおよび Discoveryボード用バイナリ

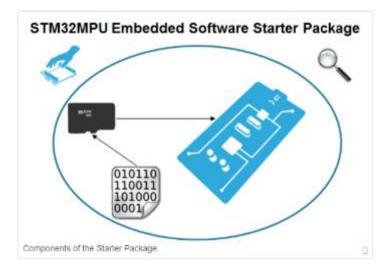
- デモソフトを動作
- Developer Packageで作成

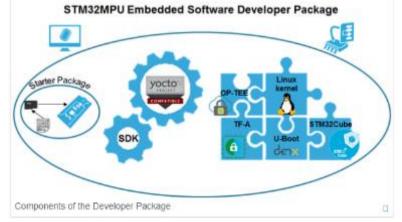
Developer Package

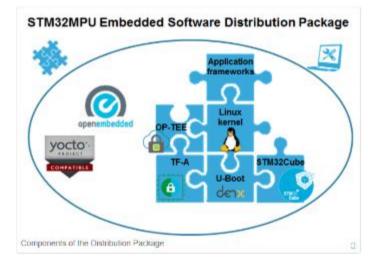
開発用ソースコード群 通常のアプリケーションおよびデバ イスドライバの作成にはこれを使用

Distribution Package

Yoctoベースの開発環境 他社プロセッサに慣れている方は こちらのほうが便利









OpenSTLinuxはA7用のソフトウェアパッケージ Linuxのソフトウェアが使用可能

STM32MP1開発ツール 32

ベンダ	統合開発環境		デバッガ	
	Cortex-A7	Cortex-M4	771973	
IARシステムズ	EWARM	EWARM	I-jet	
Arm	ArmDS	ArmDS	U-LINK	THE STATE HAND
ST	GCCベースで開発	System Workbench (フリーソフト)	STLINK-V3 (Web価格 \$35)	1015



開発用ボード

EVALボード



STM32MP157C-EV1 (セキュアブート & 暗号対応) STM32MP157A-EV1 (セキュアブート & 暗号非対応)

<搭載デバイス・機能>

- STM32MP157, 18x18mm
- ST PMIC, QFN 6x5mm
- 2x DDR3L 4Gb, 533MHz
- eMMC 4GB
- SLC NAND 8Gb
- 2x Quad-SPI NOR 512Mb
- µSD card slot
- Gigabit Ethernet
- 4x USB Host HS Type-A
- 1x USB OTG HS Type-C
- 720p DSI display 5.7 inches
- Audio Codec 24b
- CMOS camera sensor
- Motor Control connector



Discovery開発用ボード

STM32MP157C-DK2



セキュアブート & 暗号対応 400x800ピクセル MIPI DSI 対応LCD付き 静電気タッチパネル対応 WiFi 802.11b/g/n / BT 4.1対応

STM32MP157A-DK1



セキュアブート & 暗号非対応 LCD無し

<搭載デバイス・共通機能>

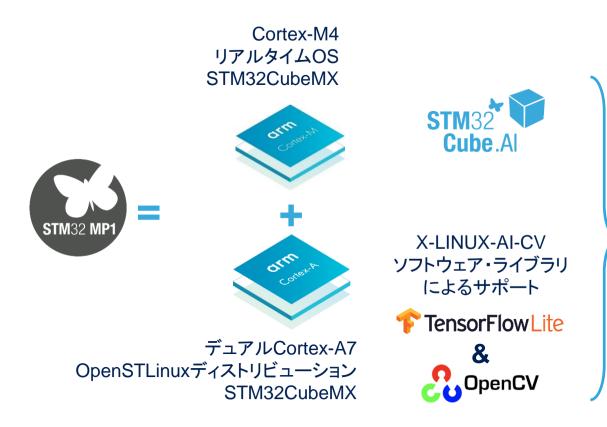
- STM32MP157, 12x12mm
- ST PMIC, QFN 6x5mm
- DDR3L 4Gb, 533MHz
- µSD card slot
- Gigabit Ethernet
- USB High Speed Type-C
- Shields capability: 40-pin 2.54mm Rpi and Arduino
- Arduino™ Uno V3 connector
- STLink V2.1 (JTAG, USART console) with OpenOCD support
- 5V USB type-C power supply
- Audio CODEC 24-bit/192K with
- Audio IN/OUT analog





STM32MP1マイクロプロセッサ

さらなるインテリジェンスを実現





- STM32Cube.AIによりCortex-M4で動作するコードへ学習済みニューラル・ネットワークを変換
- TensorFlow LiteによりデュアルCortex-A7で動作するネイティブ・ニューラル・ネットワークの推論をサポート



開発に向けて 36

Wiki URL

STM32 MPU wiki トップページ https://wiki.st.com/stm32mpu/index.php/Main Page 2種類のボードを選び、ボードを動かすための手順から各種ソフトの起動方法 https://wiki.st.com/stm32mpu/index.php/Getting_started 開発を始めるに当たって必要なツール、ソフトウェア https://wiki.st.com/stm32mpu/index.php/Development_zone

YouTube

https://www.youtube.com/watch?v=hwH2ApYjh3M



汎用マイコン・サイト(日本語)





• STM32/STM8マイコンのお役立ち情報サイト

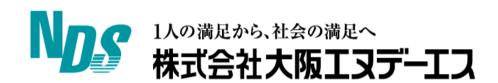
- 最適なSTM32/STM8をパラメータで簡単検索
- 豊富な日本語ドキュメント
- 評価ボードやソフトウェア情報を随時更新
- トレーニング資料などの会員限定コンテンツ
- 国内パートナー企業のソリューションを公開
- セミナー / イベントの参加申込みが可能





NDS様との協力 38

- リッチ/リアルタイム/セキュア·アプリケーションすべてに対応する SMT32MP1
- STM32MP1 の強みを生かしたソフトウェア提案
 - Cortex-A7 と Cortex-M4 を柔軟に協調させる OpenAMP 対応
 - Cortex-A7 から Cortex-M4 を最大限活用する ELFファイルの動的実行による RPC (Remote Procedure Call)対応



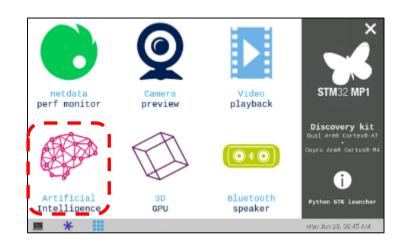


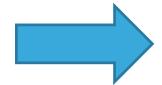
NDS様との協力 39

- エンドユーザ・カスタムボードに対応する BSP(Board Support Package)作成などのサービス抜粋
 - お客様の製品要件を満足させるブートローダー・カスタマイズ
 - 電源断耐性や障害耐性を向上させるファイル・システム設計(MTD/JournalingFS/OverlayFS)
 - 高可用性を実現するシステム監視と復旧(systemd/swatch)
 - セキュアな製品を支えるセキュリティ機能実装 (Secureboot/OPTee/Trustzone/SAMC/iptables/fail2ban/aide)
 - 各種機器との接続を可能にするネットワーク設定(CAN/Ether/WiFi/Bluetooth/RS485/LTE/3G)
 - フィールドバスからクラウドまで接続するプロトコル対応 (IP/modbus/ws/mqtt/AWS IoT/AWS greenglass/Azure IoT Hub)
 - ソフトウェア開発を効率化する統合開発環境対応(Yocto/STM32CubeMX)
 - CI/CDを支える開発環境(Jenkins/Fuego)
 - ライセンス運用の開発支援(FOSSology)



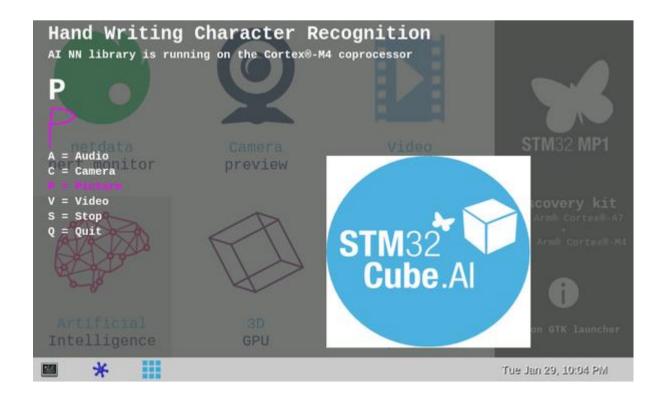
STM32MP1デモ 40





手書きの文字認識アプリケーション

- M4側で実行されているファームウェアにより分析
- 文字が認識されると左側に表示
- ③ 認識された文字がアプリケーションに関連付けられ ている場合、アプリケーションが起動



A:オーディオ再生を開始

C:カメラ·プレビューを起動

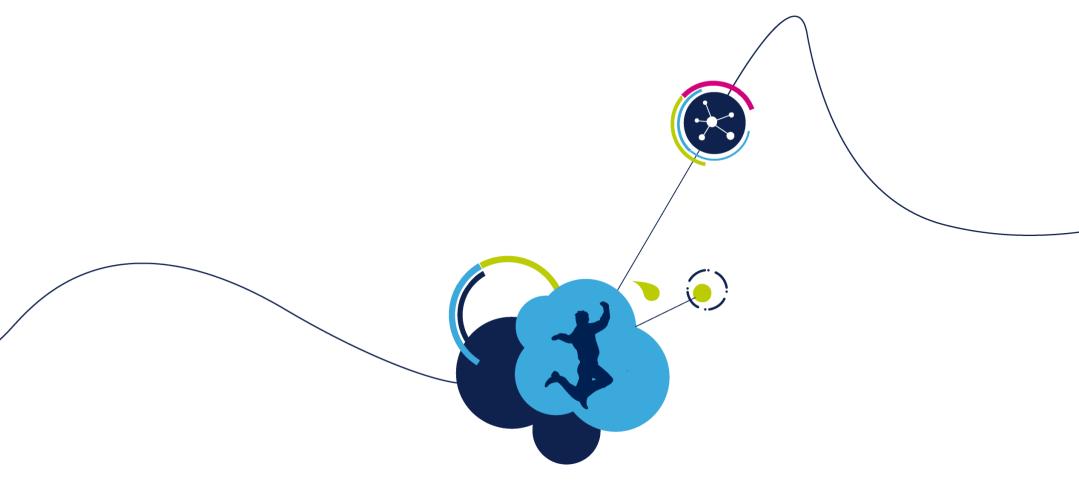
P:写真を表示

V:ビデオ再生を開始

S:起動したアプリケーションを停止

Q:人工知能のデモを終了





ご清聴ありがとうございました

